

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成23年度事業)

事業の概要		17年度		根拠法令・例規等	医療法 備前市国民健康保険病院条例
事業開始年度	02	健康でやさしさあふれるまちづくり			
総合計画	大項目 基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	問 担当課(室)	市立備前病院
中項目 基本施策	07	健やかで生き生きしたまちづくり		合 職・氏名	庶務係長 藤澤昌紀
小項目 施策	02	病院事業		合 電 話	0869-64-3385
事務事業名	02	備前病院運営事業		このシート作成に要した時間 7.0 時間	

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	出資者である市民	
目的 (何のために)	市立備前病院基本理念に基づき、安心・安全で地域に開かれた医療の提供と、計画的・効率的な病院経営の推進を図る。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	市民に安全で良質な医療を提供することを病院の理念としており、安定的な経営を行うことによって、地域の皆様に信頼され、市民ニーズに沿った病院を維持・存続させる。	

事業の実績			優先度
細事業名	事業の説明		
病院運営(各種委員会)	病院の医療安全管理、感染対策や、業務、経営改善のための各種委員会の開催		
労務管理	病院職員の労務・健康管理		
施設管理	病院施設の管理		
財務管理	病院運営の財務管理		
その他庶務	法令・条例に沿った病院運営の庶務、また他の細事業に属さない事務		

右欄の評価の説明

<妥当性評価>
運営状況は厳しいが、入院機能や高度医療機器を備えた東備地区の中核病院として、安全で良質な医療を提供するためには、必要不可欠な事業である。

<効率性評価>
バス路線の変更による通院対象地域の縮小、市立の他病院の新築、外科医引上げ等、各種要因による患者数減で厳しい経営環境が続いていたが、懸案であった外科医師2名の赴任と、新病院棟の完成・診療開始を契機とし、職員一丸となって地域住民のニーズに沿った病院となるよう院内で協議を重ね、患者目線に立ち、良質な医療を提供できるよう、機能性・効率性を重視して経営改善に取り組む必要がある。

<有効性評価>
備前病院の理念「安全で良質な医療の提供のため最善を尽くし、地域の人々に信頼される病院を目指します。」を常に現実のものとするためには、施設や機器の維持・整備を進める必要があるため、利益を確保しなければならない。

事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
決算額	事業費	千円	24,914	25,219	41,280
	必要人員	人	6.60人	8.34人	11.22人
	事業費	千円	59,411	57,480	58,604
財源	国	千円	794	1,979	2,276
	県				
	支				
	出				
	金				
受					
益					
者					
負					
担					
比					
率					
一					
般					
財					
源					
受					
益					
者					
負					
担					
比					
率					

結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
結果指標	結果指標量	人	1,478	1,533	1,674
	対前年比	%	-	103.7%	109.0%
	活動コスト	円	18,314,000	17,039,000	16,760,000
	単位当たりコスト		12,391	11,115	10,030

事業の成果		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
決算における経常収支比率	成果指標名	目標値(A)	100	100	100	100
		実績値(B)	92.9	95.02	97.44	到達目標値
		達成率(B/A)	92.90%	95.02%	97.44%	100
成果指標設定の考え方・式や説明						
経常収支/経常費用×100 「備前市病院事業改革プラン」に沿った業務内容の見直しとリンクさせるため、国がプラン中に設定している経営効率化の3指標「経常収支比率、職員給与費率、病床利用率の中から、経営状態を把握する上で、市民にも最もわかりやすい」の経常収支比率を選択した。(診療事業のシートで)を選択						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B

進行年度(H24年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	備前市病院事業経営評価委員会において、備前市病院事業改革プランの進捗状況について点検及び評価をするとともに、病院事業の経営に係る事項について調査及び検討を行い、人材確保、収益向上、経費削減等、経営改善の充実を図っていく。

総合評価		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
各委員会を定期的に開催し、業務改善・安全管理・院内感染対策など、安全・安心な医療提供について、協議し、改善につなげている。外科医の赴任、新病院の開院と相まって、入院患者は改善方向にある。今後は、電子カルテの稼働により患者の待ち時間を解消したり、3病院連携で実施する業務等により一層充実させる。		

平成25年度の方向性・取組目標		Action					
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了						
取組目標	入院患者は、波はあるものの増加傾向にあり、それに伴って入院収益も改善している。その効果を一過性のものでも終わらせないために、患者ニーズに沿ったサービスの提供を実施するとともに、情報の電子化による3病院の連携の充実や経営統合、経費削減に努め、健全経営を目指す。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストを留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価する